

男性の育児休業取得向上や子育てへの積極的関与を目指した取組

5 「育児参加支援セミナー」を実施し、男性の育児参加の重要性を説く

男性が育児参加しやすい職場環境の整備を目指して、支店長を対象とした「育児参加支援セミナー」を実施し、管理職に対して、男女共同参画や男性の育児参加の大切さの理解促進を図っている。

「研修を受講して、管理職としての立場から、部下が育児休暇を欲しているタイミングを察し、指導していくことが大切だと感じました。今後は、育児休暇を気兼ねなく取れる職場づくりに努めたいと思います。」とは、出席した支店長のコメント。

担当部署では、庫内LANにより啓発の情報発信を行っているが、育児休業取得可能な対象者には積極的に働きかけ、2007年に初めて男性職員が育児休業を取得し、2008年2月には、2人目の男性が育児休業を取得した。

のと共栄信用金庫

会社概要
 ○URL: <http://www.notoshin.co.jp>
 ○所在地: 石川県 ○業種: 金融業
 ○従業員数: 361人(内契約職員20人、パート職員66人:男性208人/女性153人)



6 男性社員の育休取得を目指し、検討会を設置し、意識調査を実施

男性社員でも「育児休業を取得したい」と申請した時に、快く承諾できる会社風土や職場体制を目指し、「男性育児推進検討委員会」を設置した。委員会では、従業員の意識調査を行って問題点を抽出し、課題の対策やスケジュールを作成している。あわせて、育児のための休暇取得プログラム「こども・子育て応援プラン」、休業取得による昇進、昇格の遅れを取り戻すシステムづくりを行った。

また、家庭のライフスタイルに合わせて、必要な時に必要な期間だけ育児休業が取得できることを社員に周知している。例えば子どもが健診を受ける時や、保育園や幼稚園、学校の行事等に、積極的に参加することもひとつの子育てにおける父親の役割であることを認識させ、男性社員に育児参画のための休暇取得を促す広報活動にも力を入れている。

ミズサワセミコンダクタ

会社概要
 ○URL: <http://msccom.jp>
 ○所在地: 岩手県 ○業種: 半導体組立製造および機械設計
 ○従業員数: 337人(男性260人/女性77人)



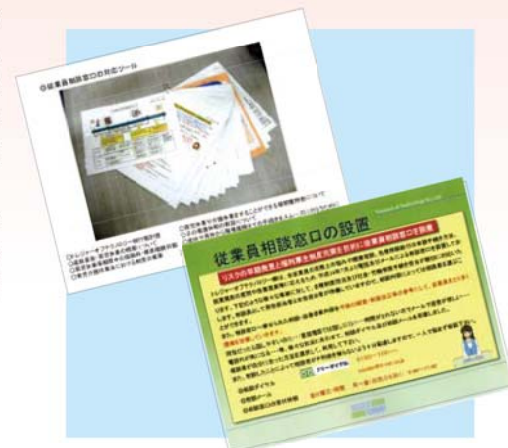
7 社内手続きマニュアルを作成するとともに、「従業員相談窓口」を設置

育児休業取得率向上を目指して、周知・啓発活動を行うために「出産・育児に関わる社内手続きマニュアル」を作成するとともに、2005年4月から、管理者に育児介護休業法等の勉強会を定期的に開催している。男性従業員からも長期の育児休業取得者が出るように、育児介護休業法に基づき選任した「職業家庭両立推進者」を活用して、育児休業含めあらゆる相談を受ける「従業員相談窓口」を設置し、相談受付及び関連情報の提供等に取り組んでいる。

業務がチーム作業のため、今後はチームの人数を増やしてサポートできる人たちの多く揃えることで、育児休業を取得しやすい環境を作るとともに、休業取得を後押しさせるような仕組み作りを考えている。

熊本・トレジャーオプテクノロジー

会社概要
 ○URL: <http://www.tt-net.co.jp>
 ○所在地: 熊本県 ○業種: 総合ITソリューション事業及び労働者派遣業
 ○従業員数: 523人(男性363人/女性160人)



8 「お父さん応援プログラム」を通じ、子育てに向き合うお父さんを育成する

父親が子育てとワーク・ライフ・バランスを考える機会を作るために、海外の先行事例等を参考にしながら、独自に「お父さん応援プログラム」を開発し、働く父親を対象に地域や職場に提供している。

2時間のプログラムは、さまざまな父親が登場するオリジナルのビデオと教材を使ったグループワークで構成されており、父親力を養うレクチャーと子育て支援の資源や制度を知るグループ・ワーク、そしてワーク・ライフ・バランスを考えるイメージ・ワークから成る。

企業で行う場合には、人事担当者から各企業の子育てに関する支援制度を学ぶ時間を設けてもらっている。これにより、子育てを通じた職場の交流が始まり、職場で子育ての話題が気軽にでき、休暇や早めに仕事を切り上げる環境が整備される。地域で行う場合は、父親の仲間づくりも行っている。

NPO法人新座子育てネットワーク

会社概要
 ○URL: <http://cnn.niza-ksdt.com/>
 ○所在地: 埼玉県 ○業種: 子育て支援NPO
 ○従業員数: 13人(男性0人/女性13人)

対象	働く父親の育児で悩む(子育て)の父親
実施期間	4月～10月(土・日・祝日を除く)
実施時間	19時～21時(毎月第2、4日)
実施場所	新座駅前(新座駅前)
実施内容	父親力アップ講座、子育て支援の資源や制度を知るグループワーク、ワーク・ライフ・バランスを考えるイメージ・ワーク
費用	無料